

# 外部被ばくによる実効線量

日時 = 2011/03/15 01:00 - 2011/03/16 01:00 の積算値  
 気象データ = GPVのみ


福島第1 2号炉 広域図  
 核種名 = 希ガス  
 対象年齢 = 成人


放出地点 : 141° 02' 08" - 37° 25' 18"


領域 : 92km × 92km


【凡例】


実効線量等値線 (mSv)

1 =  $1.00 \times 10^{-17}$  

2 =  $1.00 \times 10^{-18}$  

3 =  $1.00 \times 10^{-19}$  

4 =  $1.00 \times 10^{-20}$  

5 =  $1.00 \times 10^{-21}$  

最大線量 =  $1.56 \times 10^{-17}$  mSv

放出地点から (-0.5, 0.3) km (\*印)

計算モデル名 = PRWDA21

使用モデル名 = 通常モデル

【計算条件】

計算メッシュ幅 水平方向 = 1.00 km

放出高 = 120.0m

燃焼度 = 20000 MWD/MTU

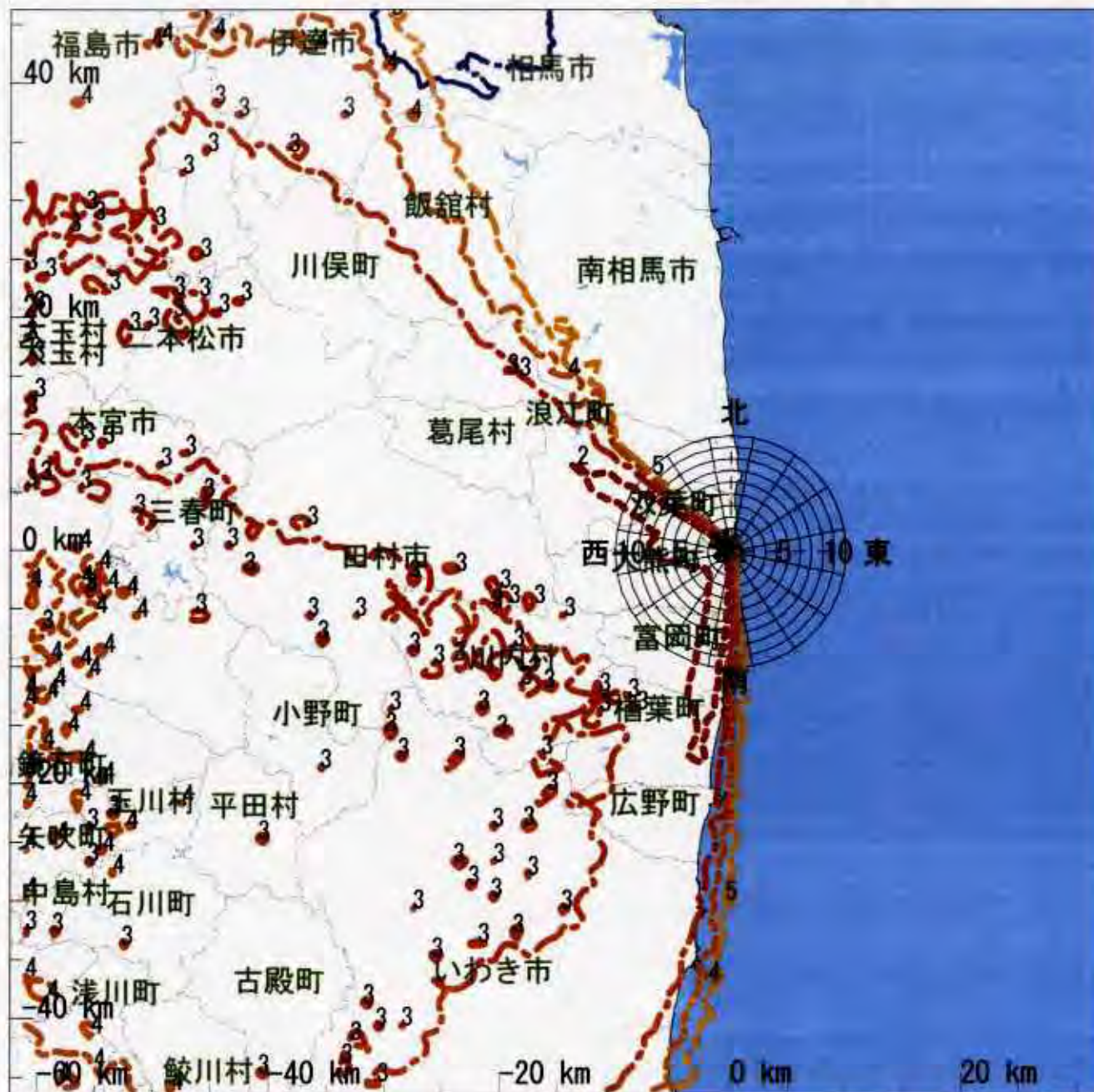
原子炉停止時刻 = 2011/03/11 14:47

放出開始時刻 = 2011/03/15 01:00

放出モード = 単位量放出

放出核種・放出率(積算) : Bq/h (Bq)

希ガス :  $1.00 \times 10^0$  ( $2.40 \times 10^1$ )



この予測は実際の放射線量分布を表していません。

仮定計算条件WS

No. : S45191